

令和4年度全国肢体不自由特別支援学校 PTA 連合会保護者中央研修会

会長謝辞

鈴木様、本日はありがとうございました。

せっかく楽しい雰囲気だったので、固くなり過ぎない挨拶になればと思っています。

私自身、今日なにがショックだったかという、本当に動けないことがわかってしまいました。

この機会があってすごく良かったなあ、ということと、動画があっても家で1人ではなかなかやらないなあ、と思いました。

やっても続かないですし、何よりこうして皆さんと同じ時間に体を動かすことができ楽しい時間になりました。

私のことになりますが、1人で家事をしながら、子供と一緒にいながら、結構うじうじと考えてしまうことがあるのですが、それは、体を動かすことでとてもスッキリすることがあるんだなあ、と実感しました。

日常の中で、ずっと家に籠っていると考え方が後ろ向きになることがあり、意識して外に出るようにしているのと同じように、体を動かすことで自分の閉じこもっていた気持ちや何となくうまくいかないという思いを変えることができるんだ、と実感することができました。ありがとうございます。

ぜひ皆さんにお伝えしたいことがあります。

まず1つは、鈴木様が打ち合わせの時に、「ジムなどに行くのはハードルが高いけれど、家の中で少し体を動かそう、というきっかけになってほしい。」と言われました。

もう1つ、研修の中でも何度もお話しされましたが、「この機会をぜひ家族のコミュニケーションのきっかけにしてほしい。」とも言われました。

鈴木様との打ち合わせの中で「夫婦が仲良くいることは、子供が笑顔でいるために大事なことなんですよ。」という言葉が忘れられません。様々な場面で思い出しています。

私は研修会の場でよく、単位PTAの皆さんに持ち帰ってください、というお話をするのですが、今日はぜひ、皆さんのおうちにお持ち帰りください。

地域社会と繋がるという意味でも、私達の子供たちを応援していただける鈴木様と出会えたことに、心から感謝いたします。

最後になりましたが、会場で参加していただいた皆さん、YouTube で参加していただいた皆さん、本当にありがとうございます。

コロナの1日も早い収束を願っています。

今後とも、全肢P連をよろしく願います。